

公益活動報告書（市民活動実績報告書）（令和5年度分）

（宛先）岡崎市長

令和6年4月13日

団体名 LICC 日本語教室

代表者 新保 智津子

構成員 26人（※令和6年4月1日時点の構成員数）

団体の目的：団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

本会は、岡崎市および近隣に在住する外国市民に対し、日本における円滑な生活を実現するため、日本語学習の支援および日本文化の紹介や生活知識等を提供し、多文化共生の推進に寄与することを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現するための活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■ 1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどんな活動をしましたか（公益活動に限る）。

活動日 又は期間	場 所	公益※1を受けるのは 誰（何）か	受益者数		活 動 内 容	公益を受けるものに どのような効果があったか
			会員以外	会員※2		
令5.4.8～ 令6.3.23 毎週土曜日 午前8時後	りぶ5 3F LICC研修室 会議室	外国人市民	のべ 1,387人	のべ 857人	外国人に対する 日本語学習支援	日本語能力の向上が 見られた
令5.8.26	りぶ5 3F LICC研修室 302会議室	外国人市民	23人	18人	「おしゃべり会」 ゲーム形式で日本語 の学習を行った	ゲームを通じて色々な レベルの学習者（外国人市民） と交流を深めることができた。
令5.11.11	りぶ5 3F LICC研修室	外国人市民	37人	18人	「防災教室」 南海トラフ巨大地震に 備えて学習した	地震被害の対策 知識を学習できた。
令6.2.17	りぶ5 3F LICC研修室 302会議室	外国人市民	42人	20人	「交流会」 かるた取りゲームと 7-73377°	学習成果の発表と 親睦を深めることが できた。

※1 **公益** 市に登録した分野での活動で、広く市民社会一般にもたらされる利益（公益が団体や、その構成員や会員に対してもたらされる活動は、公益活動には当たりません。）

※2 **会員** 構成員であるなしに関わらず、公益の提供者として会の活動に参加する人

☆記載欄が足りない場合は、別紙を添付する形でも構いません。

■ 2 前項1に基づき、活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください（数字に○をつけてください）

高い ← (5) 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください

外国人市民への日本語支援や生活知識を提供することにより、外国人市民の生活の質の向上や、岡崎市が目的としている多文化共生に大いに貢献している。

裏面の自己診断チェックリストをご確認ください。